

年間指導計画 及び評価規準

【知技】…知識技能 【思判】…思考判断 【主体】…主体的に学ぶ

学期	月	単元名	評価項目	評価規準
1 学 期	4	体ほぐしの運動（校庭）	【知技】	体ほぐしの運動の行い方がわかる。
			【知技】	手軽な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己や友達の心と体の状態に気付いたり、みんなで豊かに関わり合ったりすることができる。
			【思判】	自己の課題を見付け、その課題を解決するために、様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりしている。
			【主体】	体ほぐしの運動に進んで取り組んでいる。
	5	表現（校庭、体育館）	【知技】	表現の行い方がわかる。
			【知技】	ひと流れの動きへの工夫の仕方としては、表したい感じを中心に、感じの異なる動きや急変する場面など変化のある動きをつなげてメリハリ（緩急・強弱）のあるひと流れの動きに工夫して感じを込めて踊ることができる。
			【思判】	友達とお互いの動きを見合い、課題の解決のために考えたことや友達のよい動きを伝えている。
			【主体】	表現に進んで取り組んでいる。
	6	かけっこ・リレー（校庭）	【知技】	かけっこ・リレーの行い方がわかる。
			【知技】	スタート姿勢から素早く走り出すことができる。
			【思判】	かけっこやリレーのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。
			【主体】	かけっこ・リレーに進んで取り組んでいる。
	7	マット運動（体育館）	【知技】	マット運動のいろいろな技の行い方がわかる。
			【知技】	自分の力に合った回転系（前転など）や巧技系（壁倒立など）の基本的な技ができる。
			【思判】	自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。
			【主体】	マット運動の基本的な技に進んで取り組んでいる。
		浮いて進む運動、もぐる・浮く運動	【知技】	浮いて進む運動、もぐる・浮く運動の行い方がわかる。
			【思判】	自分で立てためあてに挑戦し、自分の課題を見付けている。
			【思判】	友達のよい動きや、課題の解決のための動きのポイントを見付け、言葉や動作で伝えている。
			【主体】	水泳運動に進んで取り組んでいる。
2 学 期	9	小型ハードル（校庭）	【知技】	小型ハードル走の行い方がわかる。
			【知技】	一定の間隔に並べられた小型ハードルを一定のリズム（3歩のリズム）で走り越すことができる。
			【思判】	小型ハードル走のポイントがわかり、自分の課題を見付けている。
			【主体】	小型ハードル走に進んで取り組んでいる。
		ネット型ゲーム（体育館）	【知技】	キャッチバレーの行い方がわかる。
			【知技】	いろいろな高さのボールを片手、両手をでキャッチしたり、パスをしたり、ねらったところに打ったりすることができる。
			【思判】	誰もが楽しくキャッチバレーに参加できるように、プレイヤーの人数やコート広さ、プレイ上の緩和や制限などの規則を工夫している。
			【主体】	キャッチバレーに進んで取り組んでいる。
	10	高跳び（校庭）	【知技】	走り高跳びの行い方がわかる。
			【知技】	5～7歩程度のリズムカルな助走から踏み切り足を決めて強く踏み切り、高く跳ぶことができる。
			【思判】	走り高跳びのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。
			【主体】	走り高跳びに進んで取り組んでいる。
	11	跳び箱運動（体育館）	【知技】	跳び箱運動のいろいろな技の行い方がわかる。
			【知技】	基本的な技に十分に組み込んだ上で、それらの発展技に取り組むことができる。
			【思判】	自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。
			【主体】	跳び箱運動の基本的な技に進んで取り組んでいる。
	12	幅跳び（校庭）	【知技】	走り幅跳びの行い方がわかる。
			【知技】	5～7歩程度のリズムカルな助走から踏み切り足を決めて前方に強く踏み切り、遠くへ跳ぶことができる。
			【思判】	走り幅跳びのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。
			【主体】	走り幅跳びに進んで取り組んでいる。
3 学 期	1	ベースボール型ゲーム（校庭）	【知技】	ティーボールの行い方がわかる。
			【知技】	向かってくるボールの正面に移動することができる。
			【思判】	誰もが楽しくティーボールに参加できるように、プレイヤーの人数やコート広さ、プレイ上の緩和や制限などの規則を工夫している。
			【主体】	ティーボールに進んで取り組んでいる。
	2	ゴール型ゲーム（校庭）	【知技】	フラッグフットボールの行い方がわかる。
			【知技】	ボール保持者と自分の間に守る者がいない空間に移動することができる。
			【思判】	誰もが楽しくフラッグフットボールに参加できるように、プレイヤーの人数やコート広さ、プレイ上の緩和や制限などの規則を工夫している。
			【主体】	フラッグフットボールに進んで取り組んでいる。
	3	多様な動きをつくる運動（体育館）	【知技】	多様な動きをつくる運動の行い方がわかる。
			【思判】	自己の課題を見付け、その課題を解決するために、様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりしている。
			【思判】	新たな運動の行い方を考えたり、友達と動きを合わせたりして、自分の力に合った動き方を選んでいる。
			【主体】	多様な動きをつくる運動に進んで取り組んでいる。